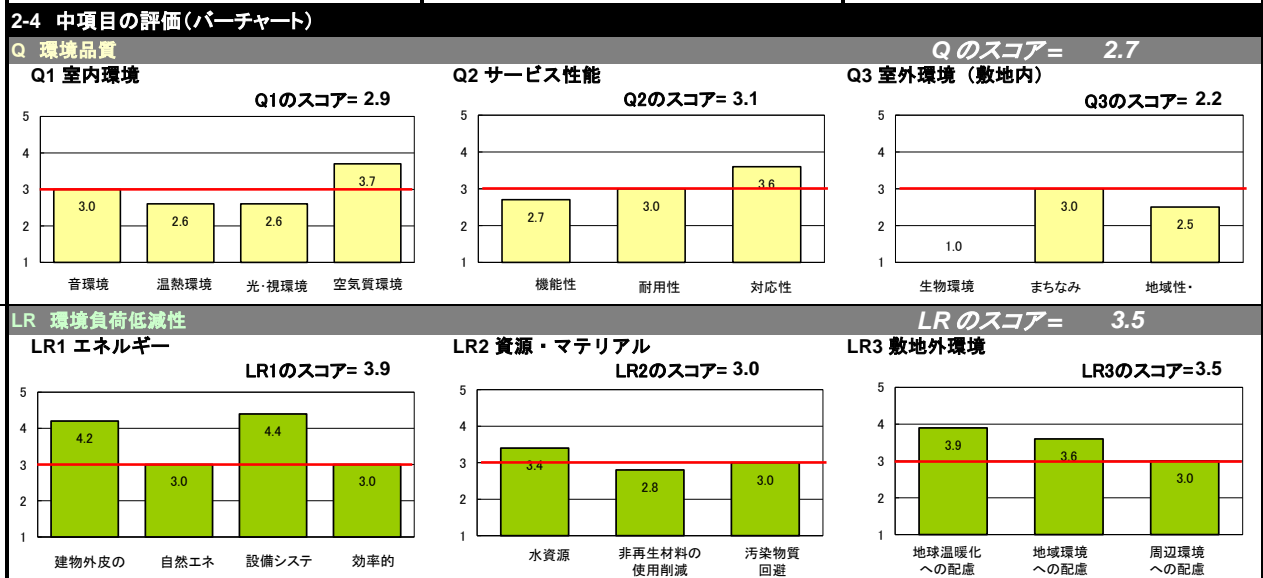
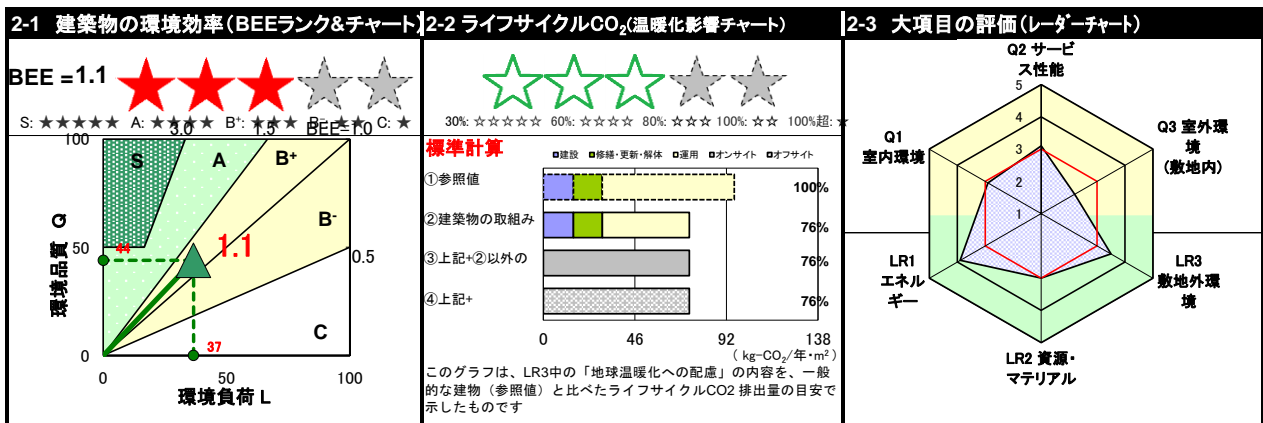
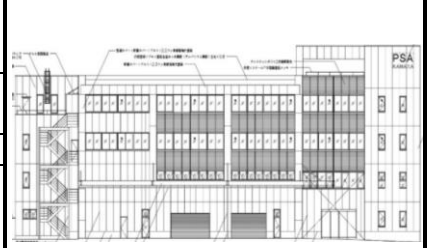


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)釜屋電機物流センター新築工事	階数	地上4F
建設地	大和市上和田字寺ノ上2680-14、-16、-21、-22、-24、-26、2684-1計7筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2020年1月29日
敷地面積	2,422 m ²	作成者	一級建築士事務所(株)直建築設計
建築面積	1,212 m ²	確認日	2020年1月29日
延床面積	3,788 m ²	確認者	一級建築士事務所(株)直建築設計



3 設計上の配慮事項

総合	その他
準工業地域に立地しており、工場と事務所の複合建物を計画した。	特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆を使用している。	Q2 サービス性能 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。
Q3 室外環境(敷地内) 特になし。	
LR1 エネルギー BPI _m =0.87、BEI _m =0.67、LED照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や節水型便器を使用している。
	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率76%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される